

平成30年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定 大学別 受講可能科目リスト

大 学： 関東学院大学

研究科(専攻)： 看護学研究科修士課程(看護学専攻)

(履修申請受付期間：平成30年4月2日～平成30年4月6日)

科目名	科目の内容	担当教員	単 位	曜 日	時 限	教 室	受入可能 学生数
看護研究方法論【春】	看護研究の概念、研究活動の実践的意義、研究倫理、文献検索・レビュー、量的・質的研究、研究論文クリティークについて教授する。	永田真弓、他	2	未定	未定	未定	若干名
看護理論【春】	看護学の理論体系の歴史の変遷を概観し、代表的な理論家の理論を探求することにより、看護理論の成り立ち、構造について理解を深め、諸理論と看護の現象との関係について探求する。	金井Pak雅子、他	2	未定	未定	未定	若干名
看護管理論【春】	リーダーシップ、マネジメント、意思決定、システム論、変革論など組織運営に関する理論を活用し、看護の実践場面において管理的視点で分析できる能力を養う。	金井Pak雅子、他	2	未定	未定	未定	若干名
看護継続教育学【春】	看護専門職としてのキャリア開発を促進するための教育論や組織的取り組みについて検討し、そのプログラムの一部を授業デザインし実際にMicro Teachingを実施するプロセスを通して、教育力を高める。すべてのプロセスにおけるリフレクションを通して、学ぶことの意味や教えるということを個人や集団で探究する。	高島尚美、他	2	未定	未定	未定	若干名
看護政策論【秋】	現在の日本における保健医療福祉の動向を踏まえ、政策と政策決定プロセスに関する基本的な構造を理解し、看護制度と関連する政策課題への関心を高める。また、保健医療福祉行政の課題を多角的に明らかにし、看護職が政策過程に参画する意義を理解する。	坂梨 薫、他	2	未定	未定	未定	若干名
看護と法律【秋】	看護の現場に関わる法律(民法、刑法、労働法)問題について、どのようなところに問題が存在していて、法律や裁判所がどのように考えているかについての理解を目指す。	山下幸司、他	1	未定	未定	未定	若干名
看護と環境【秋】	看護学的な視点から家庭、住宅、地域を取り巻く、様々な建築・環境を包括的に学び、快適な居住、健康維持・増進、高齢者介護、地域コミュニティの形成などの諸問題の解決に役立つ基礎知識を習得することを目的とする。	大塚雅之、他	1	未定	未定	未定	若干名
看護管理学特論【春】	経営管理論の歴史の変遷を探求し、マネジメント分野で開発された理論の看護管理学への適応を図る。さらに看護管理学の概念枠組みを用いて、看護サービス提供システムについて、医療政策や時代背景を分析しながら環境要因を踏まえた看護管理のあり方を創造するために必要な理論を探求する。	金井Pak雅子	1	未定	未定	未定	若干名

**平成30年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定
大学別 受講可能科目リスト**

大 学： 関東学院大学

研究科(専攻)： 看護学研究科修士課程(看護学専攻)

(履修申請受付期間：平成30年4月2日～平成30年4月6日)

看護管理学特講Ⅰ【春】	保健医療福祉サービス提供組織の仕組みについて探求し、サービス提供体制の変革に関わる要素を探求する。さらに、組織における人間の行動についてマネジメント分野で開発された理論を活用しながら保健医療福祉分野の状況を分析できる能力を養い、多様な組織における管理のあり方、管理者としての役割・機能を探求する。	金井Pak雅子	2	未定	未定	未定	若干名
看護管理学特講Ⅱ【春】	保健医療福祉における人的資源管理に関する法令、労務管理、人材開発の基本について学習し、様々なレベル(グローバル、国、自治体、地域、施設)における人的資源の有効活用の具体的施策についてシステム論を活用しながら探求する。また、保健医療福祉分野のみならず経営管理の分野で開発、探求された人的資源管理の基本的理論や概念を習得する。	金井Pak雅子、他	2	未定	未定	未定	若干名
看護管理学特講Ⅲ【秋】	保健医療福祉における経済に焦点をあて、看護経済学の概念、看護ケアの経済評価の基本について探求し、21世紀における医療制度が看護にもたらす変化を分析し、戦略的看護サービスを実践するための看護管理者の役割と課題、将来展望について探求する。	金井Pak雅子、他	2	未定	未定	未定	若干名
生活支援看護学特論【春】	広く地域社会で生活するあらゆる人々の疾病の予防、健康生活における看護者の役割と今日的課題を概観し、対象者と家族の複雑・多様なニーズに対する看護職のあり方を教授する。	坂梨 薫、他	1	未定	未定	未定	若干名
母子看護学特講Ⅰ【春】	母子看護の対象である母親と子ども、および家族の生活や健康問題への反応を的確に把握するための諸概念や理論をふまえ、母子の健康生活の維持・増進の支援について科学的に探究する。	坂梨 薫、他	2	未定	未定	未定	若干名
母子看護学特講Ⅱ【春】	女性のライフステージ全般をリプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点から診断し、母子の健全な育成に関する諸因子、女性の心身における成熟と衰退の過程、対象の生活や健康問題への反応を理解するために必要な諸理論を教授する。さらに、健康問題をもつ子どもとその家族が生涯を通して健康生活を維持・増進できるように支援するために必要な、アセスメントと看護実践について教授する。	永田真弓、他	2	未定	未定	未定	若干名

平成30年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定 大学別 受講可能科目リスト

大 学： 関東学院大学

研究科(専攻)： 看護学研究科修士課程(看護学専攻)

(履修申請受付期間：平成30年4月2日～平成30年4月6日)

母子看護学特講Ⅲ【秋】	母子の家族関係を理解する概念・理論を基盤に、育児期にある母親の不安や子どもの虐待など、現代社会における子どもと家族を取り巻く諸問題について、子どもを育て、また子どもから育てられ成長発達していく母子関係の両側面から捉え、子育て支援および家族のQOL向上へのアプローチについて教授する。また、地域で生活する先天障害や後天的に健康障害をもった子どもと家族に焦点をあててサポートシステムの現状を分析し、医療と保健・福祉・教育の連携のあり方と課題を探究する。	坂梨 薫、他	2	未定	未定	未定	若干名
高齢者・在宅看護学特講Ⅰ【春】	フォン・ベルタランフィの一般システム論をベースとして、在宅・高齢者ケアに関連する現状の保健・医療・福祉の諸制度とケアシステムの実態を把握し、その問題点や課題について論究する。またシステム構築に関する事例分析を通して、システムを発展させるために何が必要なのかその要素を検討する。	深谷安子、他	2	未定	未定	未定	若干名
高齢者・在宅看護学特講Ⅱ【春】	在宅・高齢者看護実践に必要なフィジカルアセスメント、セルフケア能力アセスメント、介護が家族ダイナミクスに与える影響を踏まえた家族アセスメントを学習し、利用者と家族の健康問題や課題をとらえ、援助のあり方を検討する。また支援に際して重要となるケアマネジメントのあり方を探求する。	青木由美恵、他	2	未定	未定	未定	若干名
高齢者・在宅看護学特講Ⅲ【秋】	在宅ケアにおける小児から高齢者までそれぞれの発達段階における利用者や家族のニーズ、また難病、精神、終末期の利用者や家族のニーズについて理解を深め、利用者や家族の状況に応じた看護ケアのあり方を探求する。特に、これらの利用者への在宅ケアや看護の現状を把握し、チームアプローチのあり方について検討する。	青木由美恵、他	2	未定	未定	未定	若干名
療養支援看護学特論【春】	療養支援を必要とする多様な疾患に伴う問題に直面している患者・家族を理解し、罹患早期からEnd of Lifeにわたる身体的かつ心理社会的、スピリチュアルな問題にアプローチするための概念および理論を学習し、苦痛や困難を緩和する援助について検討する。患者理解のための文献検討を通じて、療養支援を必要とする人々への認識を深め、看護援助方法を検討する。	高島尚美、他	1	未定	未定	未定	若干名
クリティカル看護学特講Ⅰ【春】	先端的医療や侵襲的治療を受ける患者とその家族の経験を理解し必要な支援を導くための、最新知見や諸理論を探究する。さらに、専門的援助方法の文献検討を通じて、健康危機状況における人間の内的世界や人間存在価値や意味についても認識を深め、看護援助方法を検討することができる。授業方法は、文献購読、プレゼンテーション、ディスカッションですすめる。	高島尚美、他	2	未定	未定	未定	若干名

平成30年度 神奈川県内の大学間における大学院学術交流協定 大学別 受講可能科目リスト

大 学： 関東学院大学

研究科(専攻)： 看護学研究科修士課程(看護学専攻)

(履修申請受付期間：平成30年4月2日～平成30年4月6日)

クリティカル看護学特講Ⅱ【春】	クリティカルケア看護・集中治療を必要とする患者の生体侵襲による生理学的変化を踏まえた、生活行動、機能回復の状況を把握する観察枠組みを理解し、高度専門職として病態生理に基づいた臨床推論やフィジカルアセスメントの技法を、講義、シミュレーション学習及びプレゼンテーションを通して修得する。さらに、最新のエビデンスに基づいて客観的に開発されている、臨床判断のためのガイドラインも活用して臨床実践能力を高める。	高島尚美、他	2	未定	未定	未定	若干名
クリティカル看護学特講Ⅲ【秋】	インフォームド・コンセントの概念や患者権利擁護(アドボカシー)、倫理的課題について看護者の立場として必要な対応について、具体的な事例や専門看護師の活動を通して探求する。特に、生命危機の状況における治療方針に関する患者家族の代理意思決定プロセスや関与する看護の役割に関しても認識を深める。授業方法は、文献購読、プレゼンテーション、ディスカッションですすめる。	高島尚美、他	2	未定	未定	未定	若干名
慢性看護学特講Ⅰ【春】	がんその他の慢性病を抱えて療養生活を送る、主として成人期にある人々や家族の身体的かつ心理社会的な諸問題への理解を深め、病気を持ちながら生きる人々を支援するための基盤となる理論や概念を理解する。また、それらへの理解に基づき実践および研究への適用について検討する。授業方法は、文献講読、プレゼンテーション、ディスカッションですすめる。	矢田眞美子、他	2	未定	未定	未定	若干名
慢性看護学特講Ⅱ【春】	がんその他の慢性疾患に対する様々な治療および状況に伴って生じる患者・家族の不安や身体的かつ心理社会的な苦痛を、臨床的・研究的観点から明らかにする。苦痛や不安をもつ人々への科学的根拠に基づいたリハビリテーション、患者教育など具体的な看護援助について探求する。	矢田眞美子、他	2	未定	未定	未定	若干名
慢性看護学特講Ⅲ【秋】	多様な疾患や困難を抱えながら地域で療養生活を送る患者・家族を取りまく現状、および人々を支える地域包括ケアシステムや多職種連携の実際を理解し、罹患早期から終末期にわたり継続する看護の専門性とその役割について探求する。	矢田眞美子、他	2	未定	未定	未定	若干名

特記事項

- ・本学看護学研究科の履修生がない場合は講義が開講されませんので、履修希望者は履修登録前に必ず本学教務課(室の木キャンパス:看護学研究科担当)に問合せをして下さい。
- ・授業開講曜日・講時が変更になる場合がありますので、履修希望者は履修登録前に必ず本学教務課(室の木キャンパス:看護学研究科担当)に問合せをして下さい。
- ・科目名の後に【春】と記載のある科目は、春学期開講科目です。科目名の後に【秋】と記載のある科目は、秋学期開講科目です。